

につけんの文化活動

渡辺 につけんでは、文化事業を行っているとのこと、どのような活動をしていらっしゃるんですか。

小野 につけん文化事業団では、児童文学、絵本文化の発展を願って、「につけん児童図書出版文化賞」を1994年につくりました。児童文学の編集分野で顕著な功績のあった編集者をたたえ、3年に1度、文化賞をさしあげています。〔第一回は、偕成社の元取締役編集長で『まちんと』（松谷みよ子・文／司修・絵）などの編集で知られる相原法則さんに、第二回は、編集プロダクション恒人社の編集者で、『まど・みちお全詩集』の编者でもある伊藤英治さん、第三回は大日本図書の元取締役書籍部長で『てんぷらびりぱり』（まど・みちお第一詩集）などの編集で知られる保坂重政さんにお贈りいたしました。〕

また、今回、童謡文化の発展を願って、作曲の分野で貢献されてきた渡辺茂先生に「第一回につけん小野童謡文化賞」をさしあげたわけです。

安尾 につけん小野文学館では展示活動なども行っておられますね。

小野 ええ。おもに児童文学に関する書籍の収集、展示を行っています。歌人であり、児童図書の編集者で知られる相原法則さんや、児童文学作家の渋谷勲さんから貴重な書籍をたくさん寄贈していただきました。

安尾 作家の先生方の直筆の原稿もありますね。

小野 与謝野晶子の直筆の手紙もあるんですよ。

五十野 私もこの前見せていただきました。達筆ですよ。

小野 研究資料として児童文学作家の先生方の直筆原稿の収集、保存にも力を入れています。坪田譲治の『びわの実文庫』、松谷みよ子さんの『いないいない ばあ』や『ちいさいモモちゃん』、『ちいさいアカネちゃん』、『龍の子太郎』、『私のアン

ネ＝フランク』、岩崎京子さんの『花咲か』、宮 小野理事長から渡辺茂氏に文化賞を贈呈
川ひろさんの『クロはぼくのいぬ』や渋谷勲さん、水谷章三さんらの直筆の原稿も保存しています。幼稚園の経営者で友人の小澤潔さんからは、巽聖歌の直筆の詩を何枚か寄贈していただきました。

時には、直筆の原稿を公開したり、絵本の原画展も行い、児童文学の発展に貢献していきたいと願っています。

五十野 小野先生は、幼児教室の経営者という枠をこえた、幅の広い活動をしていらっしゃいますね。

小野 私の高校時代の夢は、教育研究所をつくり、人間愛にあふれた次代のリーダーを育



てたい、それと同時に、芸術家、文学者、音楽家の先生方といっしょに文化活動を行い、心ゆたかな社会をきずきたいというものでした。

1972年、私が27歳のとき、につけん日本教育研究所をつくりました。教室で子どもたちと接しているうちに、やさしい心をはぐくむような美しい絵本、詩集、童謡集などをつくっていきたいと思うようになりました。よき師との出会いにもめぐまれ、少しずつではありますが、夢が実現してきて、大変うれしく思っています。

子どもの読書離れが国会で問題になり、2000年は「子ども読書年」になり、全国で「子ども読書年」に関連する記念事業やイベントが開催されました。私どもも絵本の創作とともに、子どもたちに読書の楽しさを伝えることやお父様、お母様方にも読書の大切さをお話することに努めてきました。今後とも読書推進運動をすすめていきたいと思えます。「子ども童謡年」のようなものもいずれはできることを願っています。より多くの作詞家・作曲家の方々と童謡の創作活動を発展させるとともに、子どもたちに童謡の楽しさを伝え、また、有志の方々といっしょに「につけん童謡合唱団」をつくってコンサートを開くなど、童謡推進運動にも努めていきたいと思っています。

心づくり、人づくりを、教育、文化の両面から行い、明るい21世紀の文化社会をきずくために貢献していきたいと思っております。

安尾 小野文学館の中に、渡辺先生の「童謡コーナー」をつくるお話をうかがいました。

小野 ええ。渡辺茂先生には、今回、私の詩を、200以上作曲していただきました。これを機に、文学館に渡辺先生の「童謡コーナー」を設けて、「たきび」や「ふしぎなポケット」「あくしゅでこんにちは」「かぜと友だち」など渡辺先生直筆の楽譜などを展示して、童謡文化の発展に貢献していきたいと思っております。また、まど・みちおさんの「ぞうさん」など直筆の詩も、ときに展示したいと思っております。

将来は、につけんの絵本や詩集、童謡集が、外国でも出版され、インターネットなどを通じて、世界の多くの子供達にも楽しんでもらえればと願っています。絵本や詩、童謡を通して、世界の子ども達が国際理解を深め、手をつないで、それが世界の平和に結びついていけば、こんなにうれしいことはありません。

渡辺 それは大変すばらしいことですね。小野先生の、文化への夢へ、共感を覚えた有志の先生方が集まってきていいですね。私の作曲した童謡が多くの子供達に歌いつがれ、また文化として保存され、童謡文化の発展へ貢献できれば、こんなにうれしいことはありません。ますますのご活躍を祈念いたしております。

小野 こちらこそ、貴重なお話をありがとうございました。先生のご長寿とご活躍をお祈りいたしております。